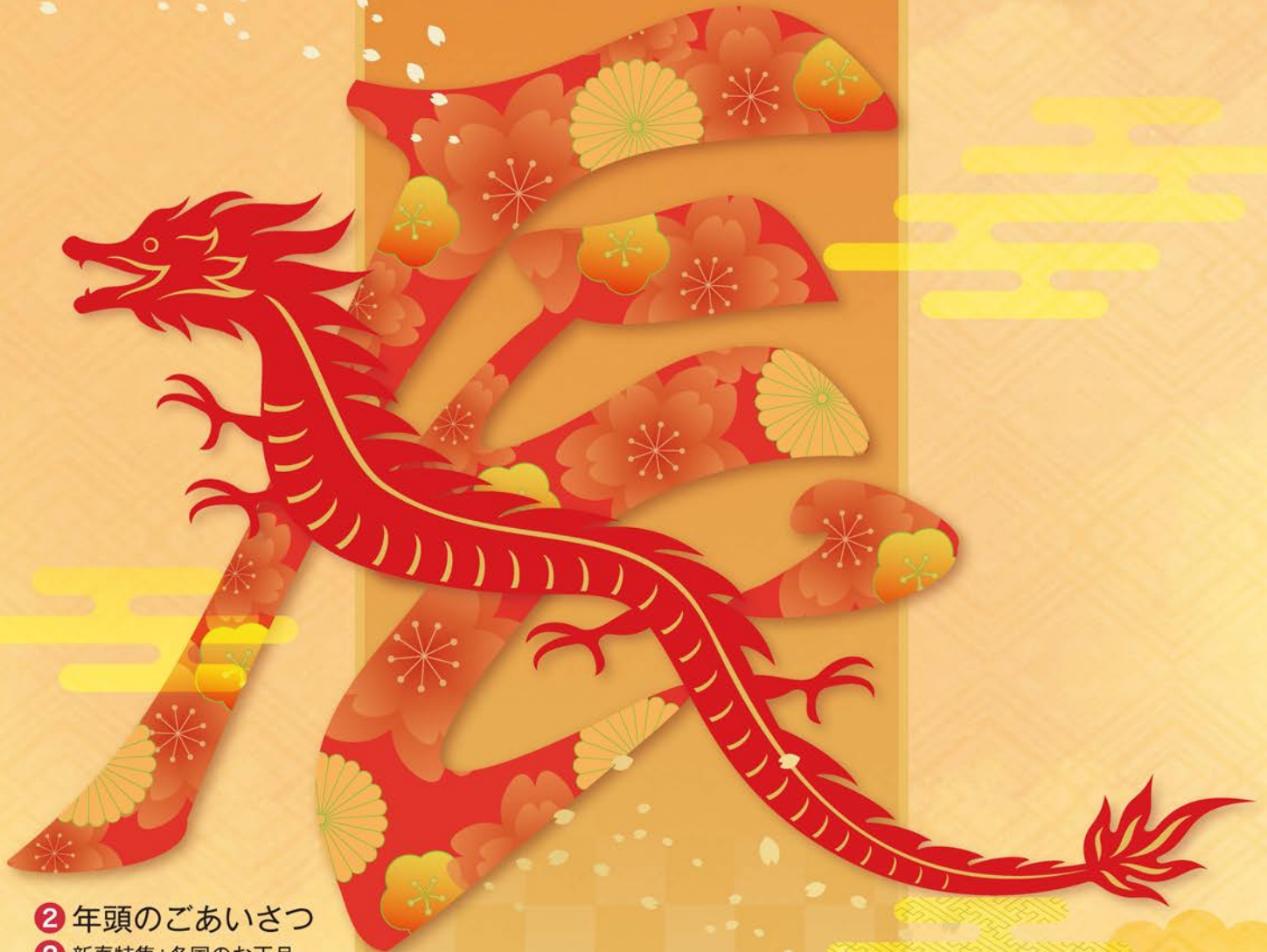


[愛と感謝と奉仕]

ひまわり



- ② 年頭のごあいさつ
- ③ 新春特集：各国のお正月
- ④ 施設長就任あいさつ
フィリピンEPA 候補者歓迎会
- ⑤ 高齢者施設における音楽療法の
認知機能向上効果について
- ⑥ 令和5年度職員旅行実施
- ⑦ 連載vol.64「記録に残したい記憶」
～貴重な体験を語り継ぐ～
- ⑧ 各施設トピックス
- ⑫ 福寿園ニュース／たぶトビ
- ⑭ 家族会だより
- ⑯ 連載●外国人介護士紹介インタビュー
連載●施設長・管理者のリレーコラム
連載●4コマ漫画フクちゃん

福寿

173号
令和6年1月10日
新年号

謹んで初春のお慶びを申し上げます



理事長 古田 周作

旧年中は、弊法人に対し、格別のご厚情を賜りまして誠にありがとうございました。また、何かと多難な時代にこうして無事に新年を迎えることができましたことを心から感謝申し上げます。

昨年は、6月に理事長交代の大役を仰せつかりましたが、施設運営にとつては、感染症、災害、物価高騰等の影響を受け、大変厳しい年となりました。あらゆるリスクと環境変化に対応できる組織作りが、いまの時代に必要なことを認識させられました。そんななか、東海市には念願の全世代型複合福祉施設「木田の里」が開設いたしました。法人のネクストステージの象徴となるこの事業は、おかげさまで多くの注目を集め、みなさんに関心を持っていただき感謝申し上げます。特に温浴施設「福寿の湯」は想定以上のお客様にお越しいただき感謝申し上げます。その他事業もまずは順調に立ち上がったものと思います。

法人の中長期経営計画は、2040年を視野に入れた構想となっております。人口減少社会において、人材の確保・育成・定着が最重要課題であると位置づけ、理事長として責任をもって取り組むべき事項であります。まずは、職員が働きやすい魅力ある職場を作っていくこと、外国人財をはじめ多様な人材が活躍できる共生社会を具現化していくことも法人の使命と考えています。

本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとつて明るく楽しい年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



常務理事・施設部長

中立 次夫

旧年中は弊法人に対しまして、格別のご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

令和5年度は、コロナが5類に移行となりご利用者の「普通の暮らし」と生きがいを取りもどすことを法人の目標に掲げて、夏祭りや文化祭、社会還元事業等を実施して参りました。また、中長期経営計画を一部見直して、高齢者にとどまらず全世代全対象福祉をめぐすことを明確にうたい、その象徴として複合福祉施設「木田の里」を開設して、軌道に乗せることを目標としてきました。6月に理事長も交代となり、昨年は法人の歴史の中でも後世になって必ず思い出される年となると思います。令和6年度は介護報酬、訓練等給付費、医療報酬の同時改定の年となります。ウクライナ紛争に加えて、パレスチナ紛争、そして地球沸騰化時代の対応等、困難な課題は山積みですが、社会のあらゆる弱者を支えられる法人をめざしてまいりますので、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新春特集! 各国のお正月

田原福祉グローバル専門学校には、
ミャンマー・ベトナム・インドネシア・フィリピンから
留学生が来ています。それぞれの国のお正月について、
紹介をしてもらいました。



ミャンマー
スーさん



ミャンマーのお正月は毎年4月に行われ
ます。【ティンジャン】という水祭りがあり、
水を掛け合うことで1年の不幸やけがれを
洗い流し、良い行いをして新年を過しま
す。音楽を鳴らして、バケツや水鉄砲、ホ
ースなどお互いに水を掛け合います。水
の掛け合いはとても激しく、この期間
は街の中を濡れずに移動するのは困難
です。

また、この期間に剃髪してお寺で瞑想
をする人も多く、正月が明けると男性
も女性も坊主の人を見かけます。



インドネシア
アルディカさん



インドネシアでは12月31日から1月1日
までお正月のお祝いを行います。インドネシア
ではそれぞれの信仰や地域によってお祝
いの仕方が異なります。私の住んでいたバ
リでは、家族や親しい人々と一緒に豚や鶏
をまるごと焼いて食事をします。そして、夜
をともに過ごし、午前0時に一斉に打ち上
げられる花火を見たり、ラッパを吹いたりし
てお祝いします。

新年になると、汚れた身体を清めるため
に盛衰の場所に行きます。過去の罪を消し
去り次のステージの生活を始めるために自
分自身を浄化します。



ベトナム
チャウさん



ベトナムのお正月は
旧暦で新年をお祝いし
ます。毎年1月から2月で、その年によ
って変わります。旧正月はベトナム語
で【テト】といいます。テトでは日本
のおせち料理と同じように、お正月の
伝統的な料理があります。また、日本
のようにお年玉をあげる習慣がありま
す。赤い封筒にお金を入れて、お年寄
りや子どもに贈ります。テトの日は家
族と一緒に過ごし、みなでお寺に行
ったり、路上で獅子舞を見たりしま
す。



フィリピン
カールさん



フィリピンのお正月は賑やかなお祝
いで知られています。花火や爆竹だけ
でなく、鍋やフライパンを叩き、車
のクラクションを鳴らしてお祭りム
ードを盛り上げます。大きな音は悪
霊を追い払い、幸運をもたらすと信
じられているからです。大晦日のカ
ウントダウンまで家族や友人、近所
の人と「レチオン」という豚の丸焼
きや「カカニン」という餅などの食
事を囲んで楽しめます。

また、私の住んでいたダバオ市では
12時にジャンプをすると来年には身
長が伸びるといっておもしろい伝
統があります。



就任あいさつ



特別養護老人ホーム
みなみ福寿園
施設長 浅野 晃

このたび、特別養護老人ホームみなみ福寿園に異動になりました浅野晃です。みなみ福寿園は開設27年目の伝統ある施設であり、また、地域の皆様との関係性がとても深い施設ですのでその重責に身の引き締まる思いです。

みなみ福寿園が培ってきた歴史と伝統を継承しつつ、新しい介護の時代へチャレンジとチェンジを目指し、より多く形にしていくことで入居者、利用者の方へ喜んでもらえるサービスの提供、ご家族への信頼、そしてここで働く職員にとって働きやすい職場となるよう努めて参ります。

地域における全世代型共生サービスの拠点となるべく日々精進して参りますので、皆様方の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム
武豊福寿園
施設長 金沢孝一郎

この度、特別養護老人ホーム武豊福寿園の施設長に就任いたしました金沢孝一郎と申します。

私は平成14年にご武豊福寿園にて介護職員としての第一歩を歩み始めました。その間に、介護職員だけでなく、生活相談員・介護支援専門員等様々な職種、また、様々な施設を経験させて頂き、私自身成長させて頂きました。知多半島で初めて福寿園が設立した、歴史あるこの武豊福寿園の施設長の任命を受け、身の引き締まる思いと、今までの関わり・地域との繋がりをより一層強固なものにし、武豊福寿園に関わるすべての人が幸せになるよう努力してまいります。

福寿園の理念でもある「愛と感謝と奉仕」の理念の下、常に選ばれる施設を目指し、職員一丸となり精進して参ります。今後とも皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和5年9月1日付で2人の施設長の人事異動がありましたのでご紹介いたします。

フィリピンEPA介護福祉士候補者7名 歓迎会&採用時研修



12月28日(木)に法人本部にて、フィリピン15期EPA候補者7名の歓迎会と採用時研修を行いました。26日(火)に横浜研修センターでの半年に及ぶ日本語と介護の研修を終え、翌日には市役所等の手続きと、年の瀬のせわしない時期での配属となりました。それでもEPA候補者は緊張しつつもこれからの仕事に胸が高鳴り、3年後の介護福祉士国家試験合格に向けて強い決意を表明してくれました。

午後からは施設の担当者とともに法人の組織や毎日の学習、介護職員の職務についての理解を深めました。年末年始は各施設で日本の行事に参加し、研修をしながら仕事に取り組んでいく予定です。初めての日本の冬を経験し、楽しみながら、そして介護福祉士を目指して頑張れるよう、みんなでサポートしていきます。

「高齢者施設における音楽療法の認知機能向上効果」について



皆さんは「音楽健康福祉士」という資格をご存じですか？音楽健康福祉士とは、高齢者の方々の状況に合わせて適切な予防療法を選択し、音楽と運動などを組み合わせて認知症をはじめとした高齢者の病気のみならず、軽度認知障害（MCI）の改善を含めた認知症予防や介護予防につながる指導が行える専門家、それが「音楽健康福祉士」です。この資格は、公益社団法人虹の会が主催している音楽健康福祉士養成講座を受講し、取得することができます。

私たちみなみ福寿園の音楽健康福祉士3人は日々、ご利用者のために活動しています。昨年の6月から8月にかけて、ケアハウスの入居者とデイサービスの利用者で軽度認知障害（MCI）の方を対象とした「高齢者施設における音楽療法の認知機能向上効果」についての臨床試験に参加させていただき貴重な機会がありました。（本臨床試験は、一般社団法人日本認知症予防学会の支援、株式会社エクシング、株式会社トータルブレインケアの協力の下、公益社団法人虹の会および福寿園との共同研究として行われたものです。）今回の臨床試験の結果、高齢者に適度な運動を組み合わせた音楽療法のプログラムを提供することは認知機能の維持・向上に効果がみられたと日本認

知症予防学会学術会で発表されました。

ケアハウスでは週2回、デイサービスでは毎日、JOYSOUNDのコンテンツを使用し、音楽療法に取り組んでおり、朝、昼とリラクゼーション効果のある528MHz愛の周波数をBGMで流し、時にはアロマオイルを用いてハンドマッサージを行い、血行促進、リラクゼーションなどの癒しの効果を目的として取り組んでいます。音楽療法のプログラムは、定期的に変更し、季節感のある歌などを取り入れています。

- ①愛の周波数を聞きながらストレッチをし、身体と心をリラックス
- ②口腔体操（パタカラ体操）
- ③利用者にパーソナルミュージック（思い出の曲）を聞き、回想法を交えながら皆で合唱
- ④音楽のリズムに合わせて身体を動かす
- ⑤①と同様に全身を整えるため、リラクゼーション効果のある音楽を聴きながらストレッチを行う

福寿園の各施設には、たくさんの音楽健康福祉士が在籍しています。それぞれの施設で地域の特性を取り入れ、施設の特徴を生かした音楽療法をこれからもご利用者の皆様と楽しく作り上げていきたいと思



今年度も福利厚生の一環として職員旅行を実施しました。今回は4年振りに宿泊旅行を再開し、日帰り1泊2日の2コースずつの選択制としました。行き先は、日帰りが近江と若狭、1泊2日は片山津温泉とあわら温泉の計4コース。家庭の都合やゆっくり宿泊したい人など、選択の理由は様々です。ゆったり9班に分かれて、10月から11月にかけてそれぞれ旅行を楽しみました。美味しいものを食べて気分もリフレッシュ。久しぶりの宴会では大変盛り上がるなど、親睦も深まり、楽しいひと時を過ごしました。

令和5年度職員旅行を楽しみました



近江牛専門店「松喜屋」とハムクーヘンで有名なラコリーナ近江八幡

福井県若狭のカニ料理と日本海さかな街でショッピング



A コース
日帰り

B コース
日帰り

カニ尽くし料理の「佳水郷」に泊まる 北陸片山津温泉

C コース
1泊2日

D コース
1泊2日

あわら温泉「グランディア芳泉」に泊まる 歴史をつむぐ福井への旅



連載 64

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



坂田 猛さん
(みなみ福寿園)

プロフィール

生年月日…昭和7年12月6日
年 齢…91歳
好きな言葉…慈愛

私は北海道の城下町松前町出身です。7人兄弟の長男で父が隣家の持ち船いか釣り船の船長でしたので、7歳の時から父に連れられ時々いか釣りに行きました。お小遣いを貯めて10円を献金したら海軍大臣米内光政から感謝状が贈られ、北海道新聞に「良い子の献金」との見出で載せられとても恥ずかしかった思い出です。

小学校高等科を卒業し、戦争が終わったので函館の履物問屋に奉公に行き夜間商業に通いました。松前に帰り父を手伝っていましたが、松前高校の3年生に編入。卒業後郵便局に勤め郵便の内務とモートルス1級の資格をもって電報主任としていましたが、病気のため退職せざるを得ませんでした。豊田市のアイシングループのアイシン高丘人事部から、中学高校は郡部と函館の各高校へ季節従業員50名の募集にみえました。会社員に貢献した私を本工として採用するから是非来てほしいと言ったので、家族ぐるみで豊田へ引越すことになり、品質保証部検査係で定年まで勤務していました。



展示会場にて

若い時から趣味で勉強していた書道は師範の免許を持っていましたので、定年後、病気になるまで約30年間一般の方数十名と学生さん数十名に塾を開設して指導してきました。



松前郵便局長からの表彰



アイシングループの書道展での表彰

施設に来てからまさか書道が続けられるとは思っていませんでしたが、職員さんのご理解とご協力を得てまた続けられるようになり、本当に恵まれているとつくづく感謝している次第です。11月27日に施設内で習字クラブを立ち上げ、月1回の予定で習字のお手伝いをする事になり8名の方が参加、楽しくをモットーに長く続けられたらいいなあと思っています。朱墨で直す様なことはせず、入所者の方々が一生懸命書いた文字ですので全員に二重丸を差し上げました。とても喜ばれ、次回は三重丸、花丸を差し上げたいと思います。私は古典の臨書といって中国の唐の時代の名筆家の作品をお手本に朝6時から一日筆を持っています。合い間には病気をしてから始めた俳句を詠むのが好きで、中日新聞に投句したり俳句雑誌に投句して楽しんでます。新聞3月に「介護士の和服に襷袢御膳」が入選し先生の好評を得ました。また、雑誌12月号では「玉の汗道産子の血が流れをり」と「花八手三河一揆の地に住めり」の二句が佳作入選することができました。

ひまわり邸 ご自宅で誕生日会!



「誕生日に自宅へ帰りたい」日頃ベッドで過ごす時間が長い入居者さんですが、目標に向かって職員と一緒に頑張ってきました。当日は体調もよく、介護士、看護師、生活相談員と一緒にいざご自宅へ。いつも過ごされていた場所で誕生日のお祝いをし、ご自身が植えた木々を眺めたりしながら、ご家族と団らんのと時を過ごされました。何か感じるものがあり、目には涙が。帰りがけにはお墓参りすることもできました。



田原福寿園 みんなでショッピング

11月になり、寒さも本格的になってきました。そんな中、入居者さんと一緒に暖かい服を探しに、しまむらへお買い物に行ってきました。店内へ入るとたくさんの洋服が並んでおり、皆さん目をキラキラさせながら「どれがいいかな…」

「この色もいいね!」と職員と一緒に楽しそうに選んでい



ました。鏡の前で悩みつつも、皆さんお気に入りの服が見つかったようで「明日からさっそく着よう!」と嬉しそうなお様子でした。

武豊福寿園ショートステイ 秋の大運動会!!

11月30日、秋の大運動会を開催しました。選手宣誓でスポーツマンシップを誓った後、ラジオ体操で身体をほぐし、白組・紅組に分かれてグラウンドゴルフと風船飛ばしゲームを行いました。普段はあまり動か



ない利用者も、他の利用者の応援で、元気に競技に参加していただけました。白組・紅組共に大接戦でしたが、最後は白組の勝利で幕を閉じました。利用者ももちろんですが、職員も真剣に競技に取り組み、いい汗を流すことができた運動会になりました。

ケアハウスみなみ

JOY体操クラブで若返り

「前は杖が無けりゃ歩けんかったけど、今は杖なしで歩けるようになった。うれしいわ。」日課の散歩から戻られた90歳女性入居者の言葉。

「ラッキー!ミッキー!」

大好き!!」の合言葉で始まる週2回のJOY体操クラブも3年目を迎えます。参加は自由、少しハードルが高いか?と思う運動も、みなさん笑顔で楽しそうです。「腕をピンと伸ばして上へ:足をピンと伸ばして前



に:」気づけば曲がっていた腕も膝も伸びるようになってきました。「身体が年を取らなくなった気がする!」継続が一番ね。」と91歳女性入居者の話。30分程の体操で息が上がってしまうのは、悲しいかな?職員の方でした。

昭和の里・あい福の里

利用者合同親睦旅行

晴天に恵まれ、11月25日フェリーを利用して、鳥羽水族館と伊勢神宮へ行ってきました。初めての船旅にワクワクドキドキする方、水族館でかわいらしい生き物に興味津々な方など、行く先々で感動していました。昼食は新鮮な魚介類の浜焼きを体験し、おかげ横丁で買い物を楽しみ、充実した一日を過ごしました。仕事では一生懸命のあまり表情が固い方が、満面の笑顔を見せてくださり、新しい一面を垣間見ることができました。



東海福寿園

介護の日体験企画

東海福寿園では毎年介護の日である11月11日に「介護ってナンダ!」と題し、様々な企画を行っています。今年は、体験企画「高齢者になってみ



よう」を全職員対象に行いました。高齢者体験キットを装着しての動作確認や職員同士が身体介護をし合う体験を実施し、高齢者の気持ちの理解や、自分たちの介護を見直す良い機会となりました。この体験を通じて、相手を思いやる心、気遣う心、相手の立場にたって考える気持ち

を養うことが大事だと気付いた職員が多かったです。今後も心繋がる優しい介護の実践を目指して行きます。

豊田福寿園デイサービス

泡シャワー始めました!

デイサービスでは、シャワーから泡が出る「KINUAMI(絹浴み)」という泡シャワーを、豊田市内でもいち早く導入しました。こすらず洗えるので優しく、肌が弱い方でも安心!温かい泡で全身が包み込まれて、気持ちもほっこり、肌も心も潤いたっぷりです。もちろん洗いあがりは肌がすすべになり、思わず笑顔がこぼれています。寒い季節のお風呂でも、泡シャワーですすべ、もちもち、しっかりと温まって、この寒い冬を乗り切りましょう!



ケアハウスパシフィック

師走の宴

師走に入り、あわただしい毎日が続いています。今年一年の労をねぎらおうと、入居者と職員合同の忘年会が市内の「ひろ寿司」にて、盛大に開催されました。乾杯の音頭と共に、楽しい宴が始まり、美味しい料理に舌つづみを打ちながら、歓談を楽しみました。

後半はカラオケタイムとなり、十八番を披露する方、職員とデュエットを熱唱した。



渥美福寿園

玄関でお迎えしています

メリークリスマス&ハッピーニューイヤー。渥美福寿園では、毎年恒例のポインセチアで飾りつけをしたクリスマスツリーが、

で記念写真を撮りながらも嬉ばれていました。三段になってるので見ごたえもあり、また年を重ねるごとに装飾も変わっているので、毎年の楽しみになっています。

玄関でお迎えをしました。赤や白、緑のクリスマスカラーがとても鮮やかで、



木田の里

東海ハーフマラソン完走!!

12月10日に東海ハーフマラソン2023が行われました。太田川駅前をスタートし、木田の里の前を通りながら21・0975キロを走り、太田川駅前まで戻ってくるコースです。ハーフの他には10km、2kmのコースもあり、ランナーは総勢で5000人と大変に盛り上がりました。木田



の里の職員と法人他施設の職員にも声をかけ14人でエントリーし、福寿の湯の宣伝をかねて福寿の湯

Tシャツで走りまわりました。当日は、12月なのに20℃の暖かい日になり、それぞれのランナーがいい汗をかきながら完走しました。大会後は、福寿の湯でお風呂に入りさっぱりした後で、つる福の生ビールを飲みながらうどんを食べ、至福の時を過ごしました。

ちた福寿園

帰ってきた!ちた福マルシエ

11月5日、秋晴れのなか、第2回ちた福マルシエを開催しました。コロナ禍で4年ぶりの開催ということで、出店企画担当が気合を入れてキッチンカーやワークショップ、雑貨販売などの出店者さんを集めました。福寿園ブースでも、昭和の里のパンやつる福のうどん、



名物どて煮などを販売し、おいしい物やかわいい物たくさんで、どのお店も大好評でした。メインス

テージでは、地域の方に歌やフラダンスを披露していただき、みんなで一緒に歌ったり踊ったり、とても盛り上がりました。イベントの最後は、地域の特産品の大抽選会!大勢の方にご参加いただき、笑顔いっぱい素敵なマルシエでした。

くすのきの里

特養合同家族交流会

2階6ユニット合同の家族交流会を開催しました。各テーブルに鍋を置き、熱々のおでんと、家族の方と一緒に協力して作った箱寿司、デザートにフィリピンのマハブランカをみんなで食べました。また、介護の日が近かったので、ケアコンテスト(全国大会)に出



場した職員が本番のコンテストの様

に発表をしました。普段介護職がどのように考えてケアを行っているか、家族の方に知ってもらえる、とても良い機会となりました。その後は出張販売会を行い、たくさんのお客様や雑貨、お菓子等があり、家族も入居者の方も面白い物を楽しんでいただき、とても良い家族交流会になりました。

養護盲福寿園

五感で味わいほろ酔い気分♪

秋晴れのすっきりとした天候にも恵まれ、日帰り旅行に出かけてきました。今年は半田赤レンガ建物に行き、カプトビールの製造工場を見学してきました。ガイドスタッフが丁寧に説明してくださり、先人のものづくりに懸ける情熱を感じることができました。見学のあとは、明治や大正



の時代に製造されていたカプトビールを試飲し、ビール好きのみなさんは大変喜ばれておりました。「酔っぱらっちゃったな」と冗談を交えながらお土産にはカプトビールを購入し、帰園後に改めて飲み比べをするのを楽しみにされていました。カプトビールの歴史を聞いて味わって、貴重な体験ができた旅行となりました。

ひまわりの街

出張握り寿司

今年ひまわりの街へ入居された方で、この道35年の寿司職人の方がみえます。今回は「寿司職人」の協力のもと、出張握り寿司を開催しました。握る姿も凛々しく、入居者から「マグロ・タイ・サーモンお願いします」と注文が入ると、心を



込めて手際よくお寿司を握ってくださいました。入居者の方々も握りたてのお寿司を食べて「マグロが美味しいやっぱりお寿司が一番だわ」と大喜び。ご自身も「美味しい」の一言に益々、腕を振るい、ユニットケ

アラしい一体感のある行事が成功しました。これからも入居者の特技を披露していただける場を皆さんと一緒に企画していきますと思います。

ケアハウスきぬうら

これで正月を迎える準備はバッチリ

今年はいしめ縄を作ろう！そんな職員の提案から、ケアハウスきぬうらでは入居者の方としめ縄を作ることになりました。「今はこんな派手な飾りを付けるの？」と職員が用意した材料を見て皆さんびっくり。「この花をここに付けたらどう？」「この位置は大丈夫かしら？」など、相談しながら和気藹々とした雰囲気の中行いました。皆さんのセンスが光るしめ縄が完成し、これで正月準備はバッチリだねと入居者の方の満足気な表情を見ることができました。令



和6年もよろしくお願ひします！

花の里グループホーム

蒲郡へピクニック

11月6日、グループホームのこすもすユニット入居者9名、職員5名で蒲郡へ外出しました。まずは、ラグーナ蒲郡にて昼食をとりました。お寿司など、それぞれ食べたいものを注文し、召し上がられました。その後は竹島水族館へ移動し、生き物と触れ合ったり、アシカショーを見たりしました。久しぶりに水族館に来る方も多く、「きれいだね〜」「わるかない、上等だよ」と皆さん満喫されていました。



田原ゆの里

ホスピタルライブ

12月15日、千葉県から皆さんにハッピーをお届けに、「歌う坂本龍馬」こと、松尾貴臣さんが4年ぶりに田原ゆの里へ来てくれました。懐かしの曲からご自身のオリジナルソングを披露していただき、綺麗な歌声と迫力ある音が会場に響き渡りました。松尾さんが歌いながら座席の近くへ来ると、皆さん手を振って笑顔が溢れていました。手拍子をとったり、一緒に口ずさんだりと、なかなか生で見ることができないライブをとて楽しまれている様子でした。また、



再会できる日を皆さん楽しみにしています。

第7回 感謝の集い ～みんなではぐくむ福祉の心～ 開催

11月18日、武豊町民会館ゆめたろうプラザにおいて、福寿園をはぐくむ会未来主催「第7回 感謝の集い～みんなではぐくむ福祉の心～」が開催され、300名を超える来場者をお迎えしました。

第1部では、地元Swing Band Taketoyoの皆さんによるオープニングアクトに始まり、式典と小学生の「福祉の心」絵手紙の表彰式を行いました。今回は愛知県内の応募作品6,018通の中から、武豊町内の児童さんが愛知県知事賞を受賞されました。

第2部では、ドラマ、映画、バラエティ等で幅広く活躍されている奥山佳恵さんをお招きし「生きてるだけで100点満点!」と題し、ご講演をしていただきました。ダウン症を持ったお子さんとのエピソードを明るく楽しくお話いただき、会場を笑顔で包んでくださいました。障がいは特別なことではな



く、ありのままを受け入れられる世の中を目指していこうというメッセージとともに、奥山さんのポジティブなエネルギーは、来場者に感動と元気を与えてくれました。

ISO再認証審査

12月4日から8日までの5日間、6名の審査委員の方々が入力所の施設及び本部を訪れ、ISO再認証



審査をしていただきました。再認証は3年毎に行われるもので、その間システムが有効に活用されたか、そして利用者さんの満足度（これが品質に相当します）が上がったかをしっかりと確認するものです。この3年間はコロナ禍で各種行事がストップしましたが、ご家族との面会については、制限は設けるが謝絶はしないことを合言葉として工夫を凝らして継続してきました。2年に一度の利用者満足度調査、法人40周年記念で作製した全職員の写真を配した「ひまわりの笑顔」ポスター、中長期経営計画の見直し等も評価していただき、成熟した運用がされているとの言葉をいただき、無事に終えることができました。

福祉QC全国発表大会

12月4日、東京で福祉QC全国発表大会が開催されました。全国から22チームが参加して、3会場に分かれて熱のこもった発表が行われました。法人からは初参加の木田の里を含めて6チームがエントリーして、その内ひまわり邸在宅チームの「大吉ファミリー」が見事に会場1位に相当する優秀賞を獲得しました。また会場で3位に相当し、利用者さんのサービス向上に直結するテーマで取り組んだチームに与えられる「いいね! いいね賞」にケアハウス武豊とひまわり邸グループホームが選ばれ、しっかりと成果を残すことができました。QC活動は発表よりも職員育成が目的ではありますが、やはり評価されると嬉しいものです。



介護職員初任者研修開講式

田原福祉グローバル専門学校

本校で今年度2度目の初任者研修が開講を迎えました。今回の初任者研修では、主に今年3月に卒業を控える日本語学科の学生が受講します。校長から介護の道に進むことへの感謝と、これから介護の基礎を学び、今後働くうえで活かしてほしいと激励の言葉を受け、受講生の顔も真剣なものとなっていました。受講生が受けてよかったと思えるように、全力でサポートをしていきます。



試験間近ラストサポート

介護福祉学科

介護福祉士の国家試験まで残すところあと少しとなり、介護福祉学科の2年生たちは毎日夜まで同じ目標をもつ仲間とともに、勉強を頑張っています。

昨年の先輩の頑張る姿を見てきて、今まさに同じように後輩に背中を語っている様子は、田原福祉専門学校より続く学校の伝統を感じます。

国家試験まであと少し。昨年はなんと、留学生も含めて合格率100%！身体に気を付けて、国家試験まで一緒に駆け抜けよう。今年も目指すは2年連続全員合格！



ダンスイベントに参加

たっぴく児童クラブ

田原駅前にあるLaLaGran広場が、Xmas DANCE PARTYに大変身。DJやダンサーによる熱いステージの中に、たっぴく児童クラブのダンスチームも参加しました。児童たちも楽しく踊り、冬の野外でも寒さを吹き飛ばす熱気に包まれました。キッチンカーも集結しており、ダンスと食事楽しみ、暗くなると照明が灯り、少しお洒落な気分を楽しむことができた1日でした。



日本語講師研修会

現場で働く外国人介護士等の学習支援をしている法人内の日本語講師を対象に、授業の組み立てや、問題や課題を討議するなど質の向上を目的とした研修会が行われました。田原福祉グローバル専門学校の日本語学科の授業見学から授業の展開ポイントなど、アドバイスや授業展開の仕方を学び、グループ討議では悩みや問題点などを講師たちと共有する時間となり、有意義な研修会となりました。これからも外国人介護士たちをサポートしていくために今回の研修を活かしていきます。



中国北京市との介護人材育成 調印式

12月20日に中国北京市民政局訪日代表団が福寿園を訪れ、今後、介護人材の育成を共に進めるための第一歩として協力を約束する調印式が行われました。

中国は2000年に高齢化社会に突入し、平均寿命は80歳を超えています。一人っ子政策時代の親が60代となり、介護サービスのニーズが高まっているそうです。中国においても介護を担う職員の育成が急務となっており、田原福祉グローバル専門学校を経営する福寿園との提携に期待が掛かっています。北京市の朝陽区には福寿園という名前の養老院があり、ぜひ中国の福寿園にも見学に来てほしいと満面の笑みで朝陽区民政局長からお誘いがありました。



家族会だより



● 家族会会長
年頭のごあいさつ

あけまして
おめでとう
ございませう



田原福寿園
家族会会長
大場 可

コロナ以降、居室での面会の再開や家族会行事もにぎやかに行うことが出来るようになりました。納涼祭の「福寿園ゆめ音頭」は生歌の披露で、盆踊りの輪が広がり童心に帰って楽しみ、秋の文化祭では、屋外ステージで歌う麻丘めぐみさんの歌謡ショーで大変に盛り上がりました。職員のみなさんには、日頃より細やかにお世話を頂き、家族としても本当に感謝しております。今後も家族会として、入所者に潤いのある生活を支援して参りたいと思います。

本年が皆様にとって、幸せな一年となりますようお祈り申し上げます。



田原ゆの里
家族会会長
鈴木 幾雄

日頃は家族会運営にご理解・ご協力をお願いでき誠に有難うございます。皆様方の日常は以前のような生活に戻りましたでしょうか。若者たちは長く続いた不自由な暮らしから解放されたかのように街へ繰り出して飲食店をにぎわしているようですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

施設利用者の皆様は、世の中が次々と現れる感染症に振り回される中でも施設内ではこれまでとほとんど変わらない行事を実施していただき楽しく過ごさせていたできていました。管理者はじめ職員の皆様のご苦勞には心より感謝申し上げます。

最後に、利用者の皆様・職員の皆様・ご家族の皆様にとってこの一年が平穏で素晴らしい年となりますよう祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。



渥美福寿園
家族会会長
青山 房生

皆様には輝かしい新春を健やかに迎えることと心よりお慶び申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスがら類になりが家族会の活動や施設行事も行うことができませんでした。夏祭りに関しては盛大に行い地域の方々との交流も行うことが

きました。ご家族の皆さんご協力頂きまして誠にありがとうございました。活動を通して家族同士や職員の皆さまとの親睦も深めることができました。又、日々の職員の皆さまの心温かいお世話により私たちの家族が笑顔で元気に過ごすことができています。家族会としても側面から支援ができるように努めていきたいと思っております。

最後になりますが、新たな年が希望に満ちた飛躍の年でありますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



花の里
家族会会長
小久保昌彦

昨年、永井会長の後、家族会の会長をやらせていただいております小久保です。どうぞよろしくお願ひします。

昨年は、コロナの方も、だいぶ落ち着いてきてまして、少しずつではありますが、通常の家族会の行事もできるようになりました。環境美化活動では、職員のみなさん、家族会のみなさんと力を合わせ、草取りをしました。夏祭りでは、家族水入らずで盆踊りをはじめ飲食バザーなど、楽しい時間を過ごすことができました。日頃、入所者に対して本当にやさしく笑顔で接していただいて、感謝にたえません。

本年もみなさんにとって、良い年になりますように、お祈りしております。



豊田福寿園
家族会会長
宇野 晃

昨年は、家族会参加の夏まつり、秋の収穫祭が盛大に開催され、大変嬉しく思っております。家族会有志の力ラオケ上手、職員様の芸達者等手をたたきながら入所者と共に楽しむことができました。

一方、準備、片付けにおきましては、職員の皆様本当に御苦勞様でした。日常の介護と合わせて心から感謝申し上げます。さて、「愛と感謝と奉仕の心」

朝、目を覚ましますと、今でも福寿園音頭が聞こえてきます。入所者、家族、職員が前向きになれる歌だと響いてきます。会長として力不足ではありますが、家族会の皆様が変わらぬ御理解と御協力を賜り職を全うする所存であります。はなはだ簡単ではございますが、年頭のご挨拶とさせていただきます。



みなみ福寿園
家族会会長
小野 英樹

昨年は、コロナ感染防止に気を配りながら様々な行事を再開することができました。6月のBBQ大会、8月の盆踊り、そして職員の皆様と一緒に4年ぶりに実施できた草取り奉仕などです。草取りは4年の間に人の背丈ほどまで伸びてしまった所もあり機械を使うなど大変でしたが、なんとか向こうが見渡せるようにな

りました。「みんなで力を合わせるとこんなに綺麗になるんだ」と改めて感じた次第です。ご協力、ありがとうございます。これからも職員の皆様と家族会が力を合わせて行事を戻して参ります。一度にはできないかもしれませんが、少しずつ進んで参りますので引き続きご協力賜りますよう、お願い申し上げます。



ひまわりの街
家族会会長
萩原 計美

入居者の皆様、家族会の皆様、職員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年はコロナも5類へと移行され、職員の皆様の万全の感染対策の下、諸行事を実施頂き、入居者、家族会、職員の皆様と楽しく触れ合う事が出来ました。本当に有難う御座いました。今年もコロナと共存の一年になると思います。職員の皆様には何かとご心労をお掛けする事と思いますが何卒宜しくお願い致します。皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。



ひまわり邸
家族会会長
横井 祐一郎

入所者、職員の皆様にとって幸福で充実した一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年は世界中に大きな試練が訪れ、私たちの日常も大きく変わりました。新型コロナウイルスの影響も薄れつつありますが、まだまだ完全に取除かれた訳ではなく、まだまだ多くの方々が厳しい状況に直面しました。その中で入居者、職員、家族会会員の皆様のご協力を頂き、昨年度は家族参加の夏祭りを3年ぶりに再開することが出来ました。様々な制約や不安に直面しましたことを深く感じています。しかし、その中で皆様の結束力や助け合いの心が光り、支え合いながら難局を乗り越えてきたことに心から感謝申し上げます。

最後になりますが、新年が皆さまにとって希望に満ち、健康と幸福に満ちた素晴らしい年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



武豊福寿園
家族会会長
石川 彰

入居者の皆さま、家族の皆さま、職員の皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の家族会行事は、年間計画通りの活動ができたことをうれしく思います。武豊福寿園では、納涼大会、知多地区文化祭を開催でき、家族と一緒に楽しむことができました。また、7月の暑い中、ボランティア活動としてたくさんの方に施設内清掃、草刈りに参加していただいたことを感謝いたします。今年度もたくさんの方々が予定されて

います。皆さまと協力しながら家族会を盛り上げていきたいと思っております。最後になりましたが、本年も皆さまにとって良い年になりますよう祈願いたしまして念頭のご挨拶とさせていただきます。



くすのきの里
家族親睦会
世話人代表
衛藤 和夫

旧年中は新型コロナウイルスへの移行等、対応の変化する中、職員の皆様方には、たいへんなご苦労とご心配をいただき、心よりお礼申し上げます。

昨年度、家族会の行事も4年ぶりに開催され、入居者の皆さんと家族の方々の楽しい笑顔にほっとさせられました。念願の面会も、ユニットの各部屋で手を握りながら声をかけることが出来るようになりました。本当にうれしいことです。やっと普段の生活に戻ったのですが、ありがたいと感じられる一年でした。

最後に、厳しい状況を皆様方の力で乗り切ってこられたことに感謝して、新年のご挨拶とさせていただきます。



東海福寿園
家族親睦会
世話人代表
井出 勝美

入所者の皆様、家族親睦会の皆様と職員の皆様におかれましては、良き新年をお迎えでき、今年も健康で良き年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。職員の皆様には「コロナ、インフルエンザ」の感

染予防対策など色々大変だと思いが、入所者様のお世話をよろしくお願ひします。

昨年は、家族参加の夏まつりを開催。特に抽選会が盛り上がり、入所者様や家族様が大変喜ばれたと思います。もちつき大会は中止になりましたが、施設長や職員の皆様、何か違う形での開催を考えてくれるそうです。

最後に、皆様のご多幸を祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



ちた福寿園
家族会会長
松本 直明

家族会および福寿園職員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、引き続き新型コロナウイルス禍中ながらも、少しずつ行動制限が緩和されてきて、以前のような状態に近づきつつあるのを感じることができました。

これも、施設長はじめスタッフの皆様が、感染予防対策の厳守、入所者への細心の健康管理等を日々、精力的に実施していただいているおかげだと感じます。ちた福寿園など地域との親交を深める催しを実施していただき有難うございました。

本年におきましても、職員の皆様と家族会で協力し合い、龍のごとく勢いよく明るい年にしたいと思っております。

最後に、皆様のご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.9

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在105名(フィリピン人 70名、ベトナム人 32名、インドネシア人 3名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q 日本に行こうと思い始めたのはいつですか?
- A 約4~5年前ぐらいです。
- Q 日本とフィリピンで生活環境の違うところはありますか?
- A はい。生活を送る中でのマナーやルールが違い大変です。
- Q 日本に来て一番心に残る思い出は何ですか?
- A 東京タワーを見た時はとても高く驚きました。
- Q 日本の食べ物(飲み物)で好きなものは何ですか?
- A ラーメンやカキフライが好きです。
- Q 休みの日は何をしていますか?
- A 家族や友達とオンラインで話をしています。
- Q 今一番の願い事はなんですか?
- A 介護福祉士に合格できるようにがんばります。



カン アナリンベロチ
ニックネーム
アナリン
渥美福寿園
国籍:フィリピン

連載 施設長・管理者の リレーコラム

ケアハウス
きぬうら

施設長 近藤 正春

私の趣味を紹介します。やり始めると何にでも凝ってしまうようで、スポーツ、釣り、車など、どんどん深くのめり込んでいく悪い性格です。当然全て中途半端ですが、今でも続いている趣味は、ゴルフと釣りです。ゴルフは運動のために続けているつもりですが、全く練習もせず年に数回の本番だけなので、ウェストと同じく年々スコアが増加しています。釣りは、船・磯・川・湖と総ての釣りをしてきましたが、今では夏場のキスやハゼ釣りを楽しんでいます。ハゼは半田の亀崎港で、短い手竿で釣れますが、キスは、田原まで遠征し白谷海岸で投げ釣りをしたり、乗合船に乗って楽しんでいます。

次号は、田原福寿園(本館)の石井施設長へバトンを渡します。



このたびの能登半島地震により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。



令和6年1月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園
■理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.173 16